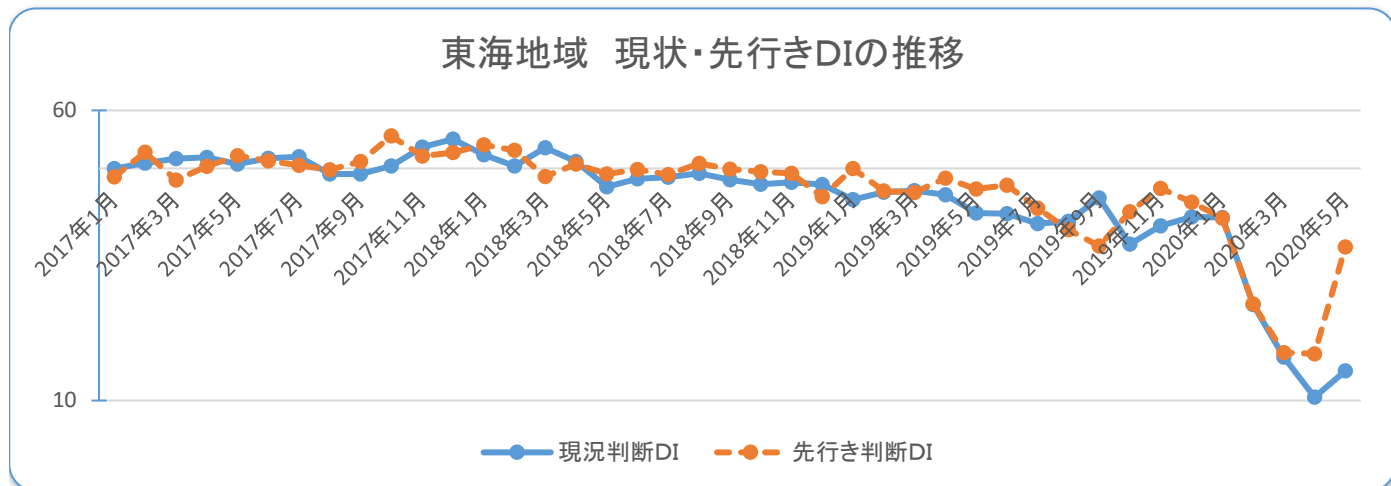


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2020年5月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計動向関連	やや良	《来客数の動き》外出自粛のなか、百貨店や外食産業の休業、営業時間短縮もあり、ゴールデンウィーク期間中は4月より更に来客数、売上点数共に増加し、売上は伸びた。【スーパー（店長）】
		不変	《お客様の様子》来客数は少ないが問合せは多く、5月中旬から成約もあり売上はやや良い。【乗用車販売店（従業員）】
		やや悪	《来客数の動き》新型コロナウイルスの休業要請は解除されたが、まだ心配で来店を控える客が割と多く、来客数は減少している。【美顔美容室（経営者）】
	企業動向関連	やや良	なし
		不変	《受注量や販売量の動き》3か月前と比較すれば受注量全体としては変わらない。新型コロナウイルスの影響で自動車関連は減少しているが、コンピュータやガラス関係からの注文が増えている。【窯業・土石製品製造業（社員）】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》直接的な影響は少ないものの、取引先では新型コロナウイルスの影響が大きいところが多い。【電気機械器具製造業（営業担当）】
	雇用関連	やや悪	なし
		不変	《求人数の動き》新型コロナウイルスの影響で事業の見通しが立たず、将来的なリスク回避も含めて採用を停止する企業はいまだにある。ただし、緊急事態宣言の解除を経て、この環境下でも採用しなければならないと考えているポジションでは、募集する動きもある。【民間職業紹介機関（営業担当）】
		やや悪	《求人数の動き》新規求人数が引き続き減少している。【職業安定所（次長）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計動向関連	やや良	新型コロナウイルス対策による活動自粛が徐々に解除され、今よりも消費活動が上がることを期待するが、緩やかな回復にとどまるのではないかと考える。【乗用車販売店（営業担当）】
		不変	緊急事態宣言の解除に伴い徐々に来客数は増えていくと見込むが、それでも以前のような人の動きにはならず、状況を大きく打破できるとは考えられない。【コンビニ（エリア担当）】
		やや悪	新型コロナウイルスの影響から節約のための解約も出始め、競合他社による訪問営業も行われているようで、厳しい環境になってくるように見受けられる。【通信会社（企画担当）】
	企業動向関連	やや良	一番影響の大きかった飲食店の客足が緊急事態宣言の解除後、徐々に戻りつつある。テレワークを解除する会社も一部あり、打合せなど面談が必要な仕事もできるようになってきた顧問先もある。【会計事務所（職員）】
		不変	緊急事態宣言が解除されても以前のような受注量に急に返るとは考えにくい。客の中には既に経営状態が悪くなっているところもあると聞く。【輸送業（従業員）】
		やや悪	現実には建設工事が一時ストップしていた影響が必ずあるため、業界的に長く影響が出るであろうが、悪化度合いの程度が計り知れない。【金属製品製造業（従業員）】
	雇用関連	やや良	なし
		不変	緊急事態宣言の解除に伴い人の移動がどれほど多くなるか、移動が多くなった場合に新たな感染拡大が起こらないか等、不透明なところが多い。【職業安定所（職員）】
やや悪		新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止又は延期となった採用試験について、いまだ実施予定が告知されていない。【学校【専門学校】（就職担当）】	